

事務事業評価シート(事前評価)

事業コード 9-2-1	事務事業名 ひばりヶ丘駅南口駅前広場の景観整備	所管部課 都市整備部 道路建設課
----------------	----------------------------	------------------------

施策コード 安1-2	施策名 道路・交通の整備	施策目標 道路・交通を整備し、市民の日常生活における利便性、安全性の向上をめざします。
---------------	-----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	高齢者及び身体障害者等全ての人にやさしい駅前広場の整備バリアフリー化工事を実施する。	根拠法令等	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等	平成24年度に調査概略設計を実施した。平成25年度基本設計委託、平成26年度実施設計委託(電線共同溝設計委託を含む)、平成27年度電線共同溝埋設工事、平成28年度他企業の電線共同溝への引き込み等工事及びバリアフリー化工事(歩道と駅前広場内の車道との段差改良) (※平成16年度に西東京都市計画区域の変更決定)		
	事業開始時期	平成16 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	25年度	26年度	27年度	目標 28 年度
事業費(A)		5,250	10,500	64,680	139,650
財源内訳	千円				
国庫支出金・都支出金		0	0	0	7,800
地方債		0	0	0	0
その他 ( )		0	0	0	0
一般財源		5,250	10,500	64,680	131,850
所要人員(B)	人	1.04	1.04	1.04	1.95
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	8,563	8,563	8,563	16,056
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	13,813	19,063	73,243	155,706
単位当たりコスト(E)=(D)/(進捗率)	千円	1,381	953	1,465	1,557

活動等指標	単位	25年度	26年度	27年度	目標 28 年度
①進捗率	目標値 %	10	20	50	100
②	目標値				
《指標の説明 など》 駅前広場のバリアフリー化及び景観の改良を経年的に行うため、設計委託を20%工事を80%と配分する。 H25:10% H26:10% H27:30% H28:50%					
成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	目標 28 年度
一 進捗率	目標値 %	10	20	50	100
	実績値 %				
二 次	目標値				
	実績値				
《指標の説明 など》 駅前広場のバリアフリー化及び景観の改良を経年的に行うため、設計委託を20%工事を80%と配分する。 H25:10% H26:10% H27:30% H28:50%					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	関連団体(西武鉄道株・バス会社・タクシー会社等)には平成25年度ひばりヶ丘駅南口駅前広場整備基本設計委託の中で、意見聴取を行う予定。
	事業実施上における制約や財源確保等	バリアフリー化工事と景観工事を行いたいが、関連団体等が営業活動を行っており工事の実施にあたり大きな影響があると思われる。関連団体等の協力が必要である。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 9-2-1	事務事業名 ひばりヶ丘駅南口駅前広場の景観整備	所管部課 都市整備部 道路建設課
----------------	----------------------------	------------------------

施策コード 安1-2	施策名 道路・交通の整備	施策目標 道路・交通を整備し、市民の日常生活における利便性、安全性の向上をめざします。
---------------	-----------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業化する上での課題
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>ひばりヶ丘駅は、南口にひばりが丘パルコ及び西友ひばりが丘店等に代表される多くの商業施設や高層住宅のヒバリタワーを擁し、北口は西東京都市計画道路3・4・21が着手され西東京市でも発展著しい駅である。</p> <p>南口駅前広場は完成以来、多くの市民に親しまれているが経年による施設の劣化は否めない。又、歩道と駅前広場内の車道との段差が大きいなどバリアフリーの観点からも多くの難を抱えている。本事業は、施設のバリアフリー化を主眼に景観に関しても改良を行い市民にやさしい施設を作ることを目的としている。</p> <p>南口の駅前広場を中心に営業活動を行っている企業者（バス事業者・タクシー事業者・商店会等）は、工事を実施するに当たり多大な影響を被ることが予想されることから、今後は事業への理解と丁寧な協議を重ねていく必要がある。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	3	
	事業内容等の適切さ	3	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業化する上での課題
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>本事業は、ひばりヶ丘駅南口のバリアフリー化など、人にやさしいまちづくりにおける利便性の向上に即した事業であり、その必要性は認められる。</p> <p>しかしながら一方で、景観改良や電線共同溝への参加企業のほか、工事に伴う営業補償など、未調整な部分も多く見受けられることから、各種事業者や周辺商店会などの関係者との意見交換を早急に行い、事業費の精査をされたい。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	3	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	<p>本事業については、ひばりヶ丘駅南口のバリアフリー化等によって安全で快適な都市空間を創出するために行うものであり、事業実施の必要性はあると考えられる。</p> <p>ただし、本事業においては、多くの関係機関が存在することから、十分な調整と協議を重ね、関係機関の協力の下、円滑な事業実施に結びつけるとともに、最小の経費で最大の効果が得るといった観点から、コストについても見直しを図られたい。</p>